



キンギョは、おしっこをするの

キンギョも、おしっこをする

キンギョなど、^{さかな}魚の^{なかま}仲間は、^{せほね}背骨をもち、^{からだ}体の中の^{なか}しくみは、^{にんげん}人間やネコなどと、それほどちがいがありません。ちがいがあるのは、^{みず}水の中であらしているため、^{ちじょう}地上であらしている^{どうぶつ}動物のように、^{はい}肺をもっていないところぐらいです。

^{さかな}魚の^{からだ}体の中にも、^{なか}体内の^{たいない}いらぬものを、おしっこにする、^{ぞう}じん臓があります。キンギョも、^{ぞう}じん臓であつられたおしっこを、しています。^{みず}水の中ですから、おしっこをされても、わからないだけです。

おしっこで、^{たいない}体内の^{すいぶん}水分を^{ちょうせつ}調節する

ナメクジやキャベツなどに^{しお}塩をかけると、^{みず}水が^で出てきますね。ナメクジの^{たいない}体内や^{やさい}野菜の中の^{すいぶん}水分が、^{そと}外の^{しおみず}塩水より^{えんぶん}塩分があうすいため、^{みず}水は^すどんどん^す吸い出されてきます。これと同じことが、^{さかな}魚と^{みず}水の間でも起こります。

キンギョは、^{まみず}真水の中にいますから、^{からだ}体の中の^{なか}ほうが^{えんぶん}塩分が^{こい}こいで、^{そと}外から^{からだ}体の中に^{みず}水が入ってきやすいのです。それで、^{からだ}体の^{えんぶん}塩分があうすまらないように、^{よぶんな}よぶんな水を、^{えんぶん}塩分の^{うすい}うすいおしっこにして、^{からだ}体の^{そと}外に出しています。

^{かいすいちゆう}海水中にいる^{さかな}魚は、^{ぎやく}逆に、^{たいない}体内より^{そと}外の^{みず}水の^{えんぶん}塩分の^{こい}こいいため、^{たいない}体内の^{すいぶん}水分が^{そと}外に出いてきやすいのです。そこで、^{かいすい}たくさん海水を^{からだ}体の中に^{なか}取り入れ、^{えんぶん}塩分の^{こい}こいおしっこを、^{すこ}少しだけ^だ出しています。(監修・安部 義孝)

